

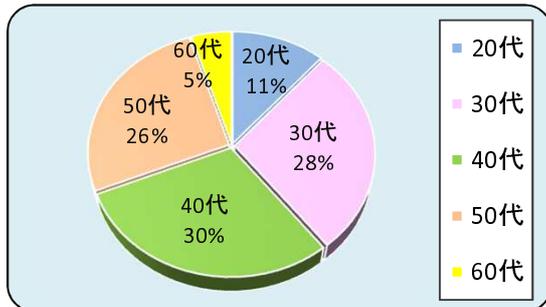
# 平成28年度 第1回 緩和ケアスキルアップ研修会 アンケート集計結果

H28.6.15(水) 荘内病院 講堂 18:30~20:00

- ・ テーマ : わからない相手をわかるために~だれでもできるアドバンス・ケア・プランニング~
- ・ 講師 : 山形県立河北病院 緩和ケア科科長 奥山慎一郎先生
- ・ 参加者 : 81名
- ・ アンケート協力者 : 61名 (75%)

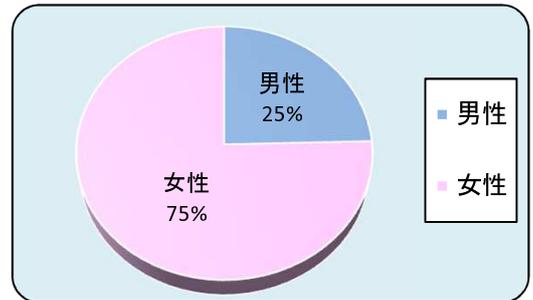
## 1.年齢

20代	7
30代	17
40代	18
50代	16
60代	3



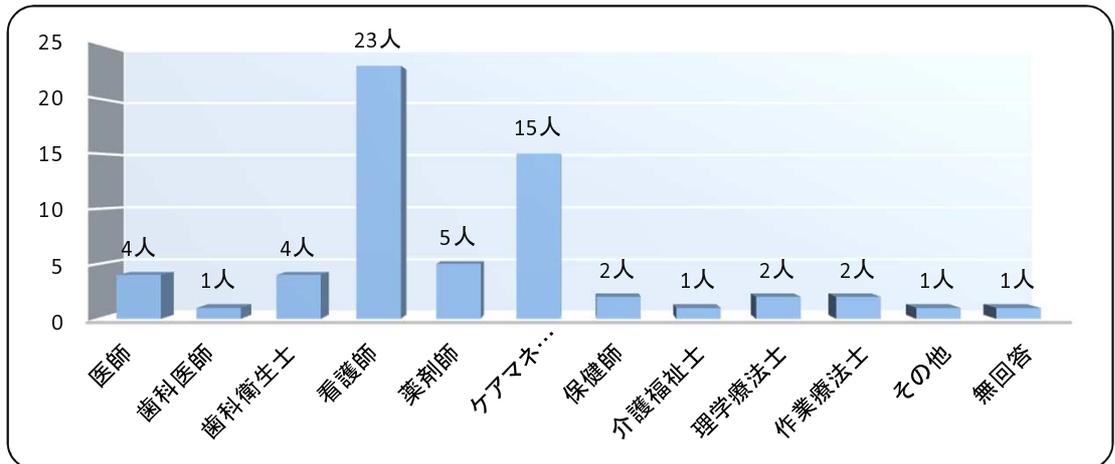
## (2)性別

男性	15
女性	46



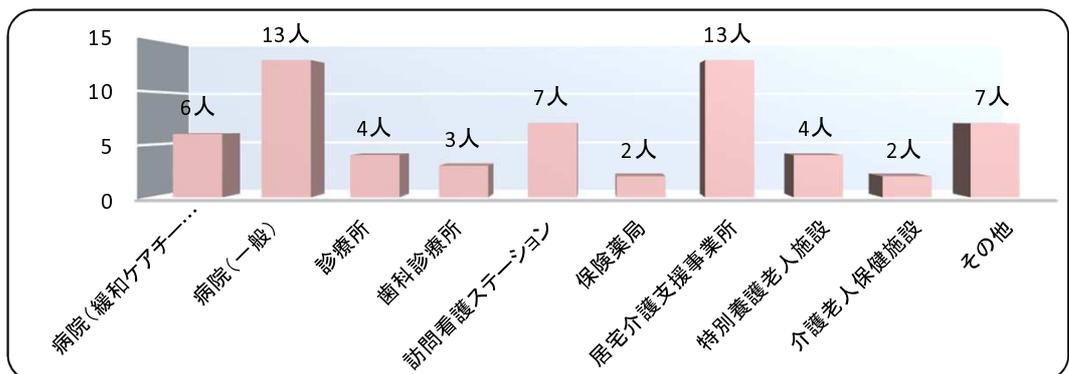
## (3)職種

医師	4
歯科医師	1
歯科衛生士	4
看護師	23
薬剤師	5
ケアマネジャー	15
保健師	2
介護福祉士	1
理学療法士	2
作業療法士	2
その他	1
無回答	1



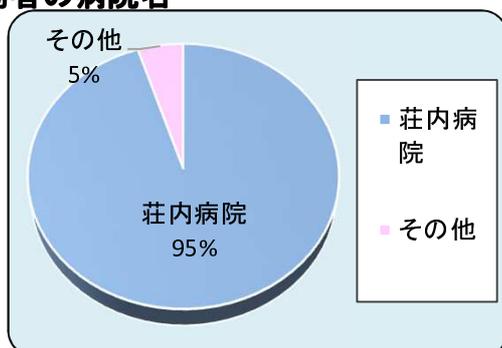
## (4)勤務場所

病院(緩和ケアチーム)	6
病院(一般)	13
診療所	4
歯科診療所	3
訪問看護ステーション	7
保険薬局	2
居宅介護支援事業所	13
特別養護老人施設	4
介護老人保健施設	2
その他	7



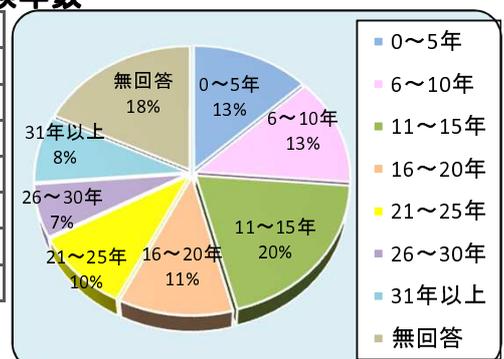
## (5)病院勤務者の病院名

荘内病院	11
その他	1



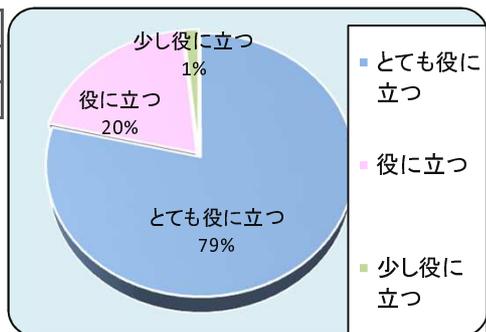
## (6)臨床経験年数

0~5年	8
6~10年	8
11~15年	12
16~20年	7
21~25年	6
26~30年	4
31年以上	5
無回答	11



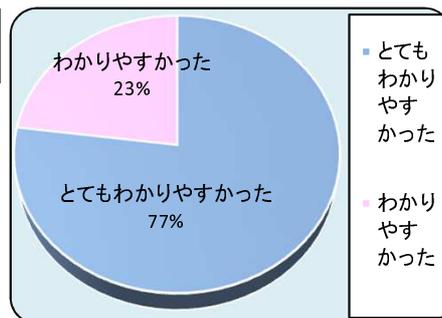
### (7) 今後の役立ちについて

とても役に立つ	48
役に立つ	12
少し役に立つ	1



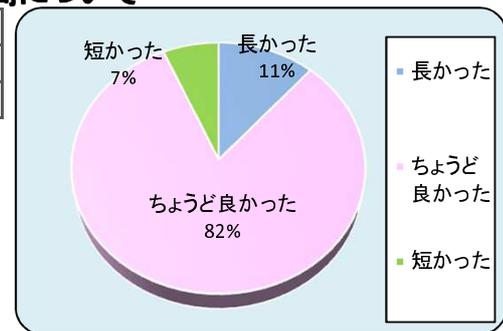
### (8) 内容について

とてもわかりやすかった	47
わかりやすかった	17



### (9) 講義の時間について

長かった	7
ちょうど良かった	50
短かった	4



### <自由記載>

- ▶ 大変良いお話でした。思いは誰もその中にあるとすれば、その思いを出し合い、共有しあい、どうありたいか、話し合うプロセスの大切さ、心にしみました。(行政 保健師)
- ▶ 事例を交えてとてもわかりやすく楽しかったです。また、鶴岡に来てください。(居宅介護支援事業所 ケアマネジャー)
- ▶ この地で生まれ、育ち、死を迎える方の多い南庄内。地域包括ケアシステムに従い、この地域の高齢者を支えてゆく仕事をしたいと考えています。このような多職種、多くの施設の方が集まり、同じ学びを得られる活動は、素晴らしいことと思います。今後もこの活動が続きますことを希望いたします。(病院 看護師)
- ▶ 自分のフレーム、考えを外す事の大切さ、思いを聞きとれる関係性、夫婦での生活、子どもは県外が多い中、間でのつなぎ全てを両方に伝えることの大変さを感じた。(居宅介護支援事業所 ケアマネジャー)
- ▶ 今日のお話は、医療の現場だけでなく、自分の私生活にもとても役立つ内容でした。ありがとうございました。(保険薬局 薬剤師)
- ▶ 今日、ちょうどドンピシャで“わかり合う”ことに苦しんできたので、現実を対比させながら伺いました。これからも、また新発見をしながら苦しもうと思いました。(病院 看護師)
- ▶ さいごのDVDが印象的でした。その患者・家族の生きて来た人生、物語りを支えられるように、少しでも力になれたらと思った。(病院 看護師)
- ▶ 「答えは相手の中にあります」その言葉を明日からの患者さんケアに、少しずつでも活かしていきたいと思えます。柔軟な心を育てていきたいと思いました。(訪問看護ステーション 看護師)
- ▶ ACPは身近にいる私たちが中心になって関わっていく事が大切だと感じた。JUJUのPVがとても良かった！(居宅介護支援事業所 職種回答なし)
- ▶ 意向についてとてもためになりました。(特別養護老人施設 ケアマネジャー)
- ▶ とても良いお話が聞けました。ありがとうございました。(居宅介護支援事業所 ケアマネジャー)
- ▶ とても心にしみる学びの多い講習でした。自分のACPも考えてみたいし、そこにに関わり働いてみたいと思いました。(病院 看護師)
- ▶ とてもわかりやすく、楽しくお話して下さったので、時間もあっという間でした。「もし自分が」「もし自分の家族が」などと考えながら聞かせていただき、とても参考になりました。改めて多職種連携の重要性も感じました。本人(患者)、支える家族、支援する医療スタッフ、それぞれの気持ち、考え方などが互いに伝えあえる良い関係づくりが大切なのだと感じました。(連携室 事務職)
- ▶ いざとなった時、本心を聞き取ることが難しく、何度も繰り返し聞いていくこと、みんなでカンファレンスをしていくことの大切さを学ぶことができました。(特別養護老人施設 ケアマネジャー)

- ▶ 昨年に続いて2度目の講義をいただいたが、自分が変わり、相手の中に入り知ることが大切だと思いました。また、来年もお願いします。(居宅介護支援事業所 ケアマネジャー)
- ▶ とても興味深い講義でした。チームで繰り返し話していくことの大切さを改めて感じました。(訪問看護ステーション 作業療法士)
- ▶ 答えは相手の中にある、思い込みに注意、きちんと話が出来るようにしたいと思います。主役はPCT！！(病院 看護師)
- ▶ また、奥山先生のお話を聞きたいです。(訪問入浴介護 看護師)
- ▶ とても楽しく講義を受け、また、奥山先生のお話を聞きたいと思いました。(訪問入浴介護 看護師)
- ▶ 相手のフレームで物事を考え、見て行きたいと思いました。ありがとうございました。PV感動しました。(病院 看護師)
- ▶ 同一法人内にある病院へ、周術期ケア等で歯科介入しています。周術期、緩和ケア時の歯科介入に同意いただけない場合に対するアプローチの方法の参考になりました。(歯科診療所 歯科医師)
- ▶ とても楽しく勉強させてもらえました。ありがとうございました。(診療所 看護師)
- ▶ 最後のDVD良かったです。ありがとうございました。(特別養護老人施設 看護師)
- ▶ どうしてわかってくれないの？ = 自分の価値観の押しつけの言葉になるほど、と納得しました。がん、老衰の患者さんが通院する診療所に勤務しています。看護師が情報収集し医師に提供しないと、とはわかっていながら余裕がなく、対応が甘く指摘されることが多いです。今日のACPのスライドを部門にも貼り出したり、カルテに貼ったりして活用していきます。患者さんの物語にぐっときました。(行政)
- ▶ ありがとうございました。大事なことは主は医療者ではなく、Pst・Familyを再認識しました。介護予防業務ですが、人と接するときは内容は異なっても、講義の基本的ことはとても参考になった。ラストの音楽がとても心地よく、緊張感が抜けていやすれた。出席させていただきよかったです！ 今回の続きのテーマで同Drの再聴講を望みます。(行政 看護師)
- ▶ 自分の家族のことを考えながら聴講させて頂きました。経験年数が増えたと自分の経験を患者や利用者にあてはめてしまっている事があります。「話を聞いているつもり」にならない様に、しっかり患者や利用者の声に耳を傾けていきたいと思いました。本日の講演を聴くことが出来て、本当に良かったです。ありがとうございました。(訪問看護ステーション 理学療法士)
- ▶ 患者様の生き方や好きなこと、誇りに思うことを聞くことを大切にしていますし、そうした会話が楽しく感じています。先生のように、その人らしく最後に「生きてて良かった」「いい人生だった」と思って頂けるよう関わっていききたいと思います。(病院 看護師)
- ▶ 奥山先生らしい、人間味あふれる素晴らしい講演でした。奥山先生のようなお考えを持った方が1人で多くなれば、地域包括ケアシステムの構築につながり地域医療がさらに発展していくと思います。(行政 事務)



ご協力ありがとうございました

南庄内緩和ケア推進協議会 医療者教育WG